



2024年5月14日

各 位

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
代表者 代表取締役社長 青 田 重 利
(コード番号 3431 東証プライム市場)
問合せ先 サステナブル経営推進室長 佐々木 悟 郎
(TEL 03-5649-0111)

株主・投資家との対話の実施状況等について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、中期経営計画（2022～2026年度）における成長戦略や資本政策等への理解を深めて頂くよう、株主・投資家との面談を積極的に実施しております。

2022年度より年2回の決算説明会を開催するとともに、機関投資家とのSR面談およびIR面談（1 on 1 ミーティング）にも積極的に対応しており、2022年度には計33回、2023年度には計53回の面談を実施しました。また、2023年度には機関投資家を対象とした工場見学会につきましても計5回実施しております。さらに、2023年5月には当社ホームページに英文サイトを開設するとともに、株主総会招集通知や決算短信をはじめとした適時開示資料などの英文開示を開始し、海外投資家からの投資拡大を図っております。

当社における2023年度の株主・投資家との対話の概要は以下のとおりであります。

記

1. 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の取組み

(1) 対話を行った株主・投資家の概要

国内機関投資家等 SR面談20回、IR面談14回、決算説明会2回、工場見学会5回
海外機関投資家等 SR面談3回、IR面談16回

(2) 株主・投資家との対話の主な対応者

代表取締役社長 青 田 重 利
執行役員IR室長 瀬戸井 裕
執行役員企画・管理部長 遠 藤 彰 信

(注) IR室は、2024年4月1日付けでサステナブル経営推進室に改称しております。

2. 株主への説明で理解を得られた事項

- ① 中期経営計画（2022～2026年度）における事業戦略や成長投資計画等
- ② 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（2024年8月9日開示）に基づく資本政策の考え方と実施状況
- ③ 統合報告書2023（2023年5月22日公表）に基づく、過去の歴史を踏まえた価値創造プロセスとそれを実現する基盤（経営資源の質と量）

3. 株主との対話で得られた事項や取り入れた事項（前年度までの対話によるものも含む。）

- ① 統合報告書2023の発刊（2023年5月）
- ② 英文開示の開始（2023年5月）
- ③ 女性取締役の登用（2023年6月から7名中1名）
- ④ 総還元性向の見直し（2024年3月期より中計期間中の還元性向の目安を30%から60%へ）
- ⑤ 株式分割の実施（2023年10月実施）
- ⑥ 政策保有株式縮減の加速（2024年3月期に4銘柄縮減）
- ⑦ 役員報酬の開示（2022年3月期より子会社から役員として受けた報酬等の総額を記載）
- ⑧ 定時株主総会招集通知に記載する取締役のスキル・マトリックスの開示開始（2023年3月期より実施）および内容充実（2024年3月期より実施予定）
- ⑨ 株主総会における電子投票制度および議決権電子行使プラットフォーム採用（2024年3月期定時株主総会より実施予定）

以上